

TDC通信パッケージ インストールマニュアル

本書はTDC通信パッケージのインストールマニュアルです。

株式会社 トヨタシステムズ

2022年10月24日

ver.1.1.4

日付	版数	改訂内容
2018/04/01	1.0.0	初版
2018/11/09	1.1.0	TDC通信パッケージ 1.1.0 版 リリースに伴う改定
2019/01/01	1.1.1	会社名変更
2021/03/26	1.1.2	TDC通信パッケージ 1.1.1 版 リリースに伴う改定 対応OSの修正
2022/08/26	1.1.3	ダウンロードページアドレス変更
2022/10/24	1.1.4	ページ番号とタイトル変更

インストール時にご準備頂くもの

インストール作業にあたり、以下の情報を準備して頂く必要があります。

ご利用になるサービス（DIEX(汎用)サービス / u-DIEX(汎用)サービス）で、必要な情報が異なります。

No.	情報	内容	DIEX	u-DIEX
1	インストーラー (データ)	ダウンロードサイトより入手	○	○
2	EDI-ID登録完了のご案内 (PDF)	EDI-ID登録完了時に送付した資料	○	
3	プロセスID登録完了のご案内 (PDF)	プロセスID登録完了時に送付した資料		○
4	プロセス固有情報 (データ)	プロセスID登録時に必要な パスワードファイル		○

※上記全て申込による再発行が可能です。

TDC通信パッケージの動作に必要な環境

TDC通信パッケージをご利用頂く場合、下記条件を満たす必要が御座います。

No.	動作に必要な環境	条件
1	導入対象端末	OS: Windows 10 Windows Server 2012 Windows Server 2012 R2 Windows Server 2016 Windows Server 2019 メモリ: 1GB以上 HDD: 10GB以上 ディスプレイ: 1366x768以上
2	Microsoft .NET Framework 4 以上	「 A.参考情報 .NET Frameworkのインストール 」 を参照し、インストールを行って下さい。 OSに標準搭載されている場合はインストール不要

高速スタートアップとは

パソコンの起動を速くするため、シャットダウン時にメモリやCPUなどの状態を保存しておく機能です。通信パッケージのスケジュール処理が意図しない時間に動作することがあるので、**無効化**を推奨いたします。
※Windows10 に限る

手順方法

1. 「コントロールパネル」を開きます。
2. 右上にある表示方法が「カテゴリ」になっている事を確認
「システムとセキュリティ」をクリックします。



3. 「電源オプション」をクリックします。



4. 左の項目にある「電源ボタンの動作を選択する」をクリックします。



5. 「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリックします。



6. 「高速スタートアップを有効にする(推奨)」のチェックをクリックで外します。



7.チェックを外したら右下にある「変更の保存」をクリックします。



ご加入するサービスによる手順の違い

ご加入するサービスにより、インストール作業の手順が異なります。

ご加入のサービスのマークが付いているページの作業を行う

ようお願い致します。

・DIEX（汎用）サービスのみご加入の場合		
・u-DIEX（汎用）サービスのみご加入の場合		
・DIEX（汎用） /u-DIEX（汎用）サービスにご加入の場合		

インストール作業手順

DIEX

両方

u-DIEX

1. セットアッププログラムのダウンロード

2. インストール

3. 環境設定

4. ユーザー登録

5. システム再起動

6. u-DIEXパスワード登録

7. データ送受信テスト準備

8. データ送受信テスト
(DIEX (汎用) センターとのテスト)

9. 振分け情報受信

10. データ送受信テスト
(u-DIEX (汎用) センターとのテスト)

完了

**注意**

管理者権限のあるユーザーでログインして下さい。

administrator権限のあるユーザーでログインして下さい。

1. TDC通信パッケージをインストールするPC起動して、Windowsにログオンします。
 2. TDCダウンロードサイトから、「**TDC通信パッケージ**」をダウンロードします。
TDCダウンロードサイトURL：
<https://www.toyotasystems.com/service/edi/u-diex/doc/pkg-qa/packageDownload.html>
 3. ダウンロードしたzipファイルを解凍し、展開します。
解凍に必要なパスワードには、事前にお伝えしたパスワードを入力してください。
 4. 展開したファイルの中の「TDC通信パッケージ_セットアッププログラム」を、デスクトップへコピーします。
- 以上でセットアッププログラムのダウンロードは完了です。

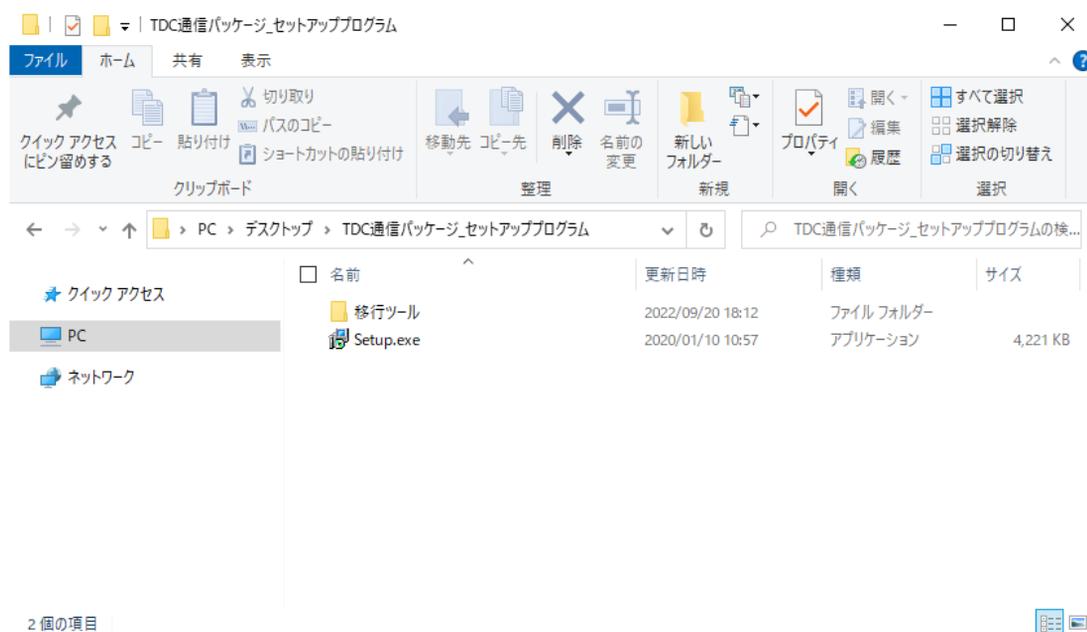


注意

管理者権限のあるユーザーでインストールを行って下さい。

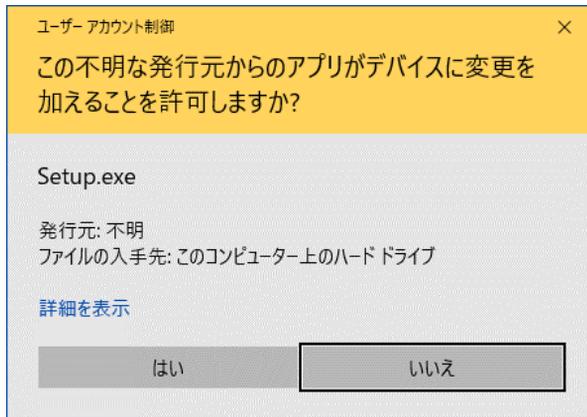
administrator権限のあるユーザーでインストールを行って下さい。

1. デスクトップにある「TDC通信パッケージ_セットアッププログラム」フォルダを開き、「Setup.exe」を実行します。(*1)

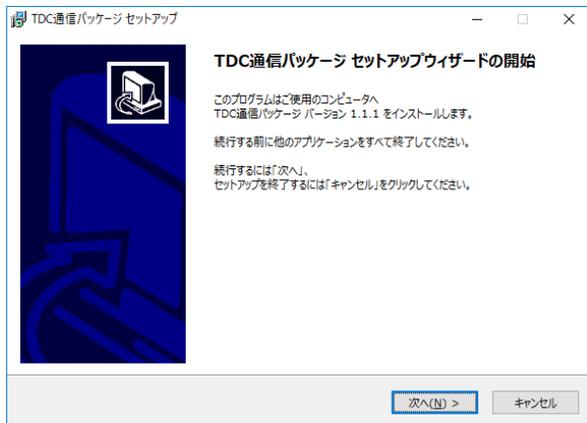


- (*1) デスクトップに「TDC通信パッケージ_セットアッププログラム」フォルダがない場合は、「1. セットアッププログラムのダウンロード」を実施してください。

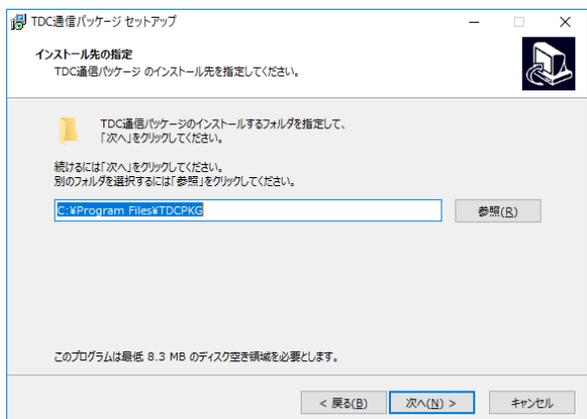
2. ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



3. 「次へ」をクリックします。

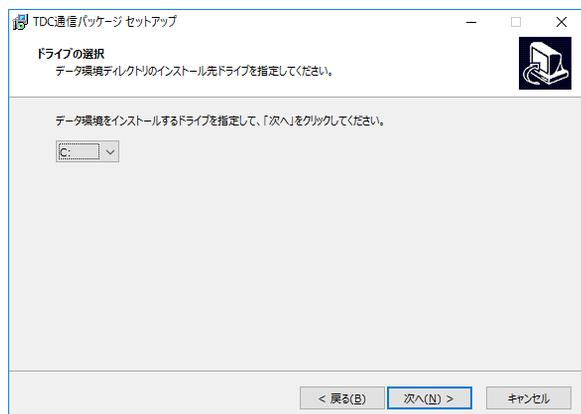


4. 「次へ」をクリックします。



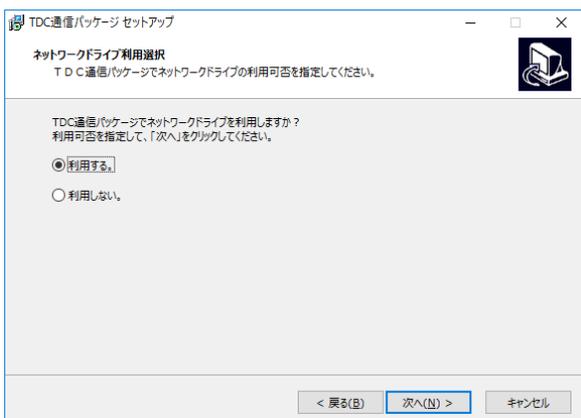
5. 「次へ」をクリックします。

※デフォルトはCドライブです



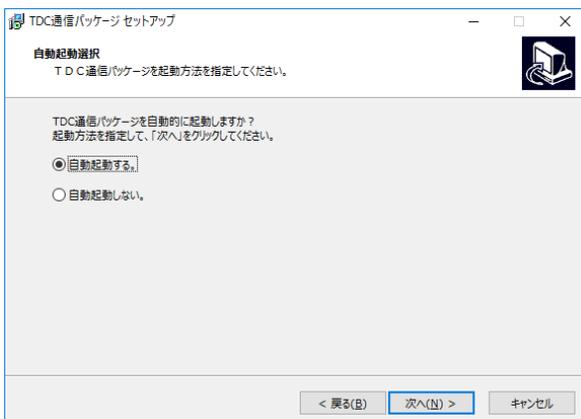
6. ネットワークドライブを「利用する」又は、「利用しない」を選択し、「次へ」をクリックします。

※送受信ファイル格納先にネットワークドライブを利用される場合は「利用する」を選択してください。



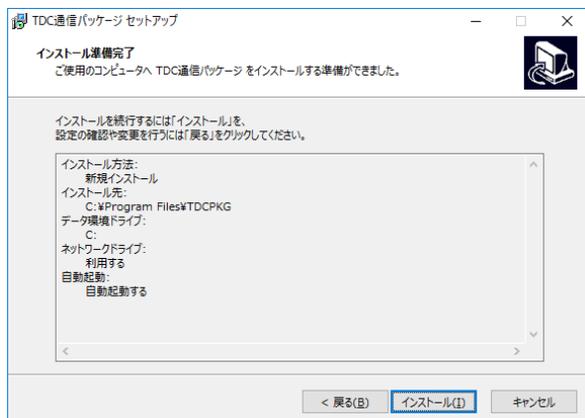
7. 「自動起動する」又は、「自動起動しない」を選択し、「次へ」をクリックします。

※毎回手動でシステムサービスの起動・停止を行いたい方は、「自動起動しない」を選択します。

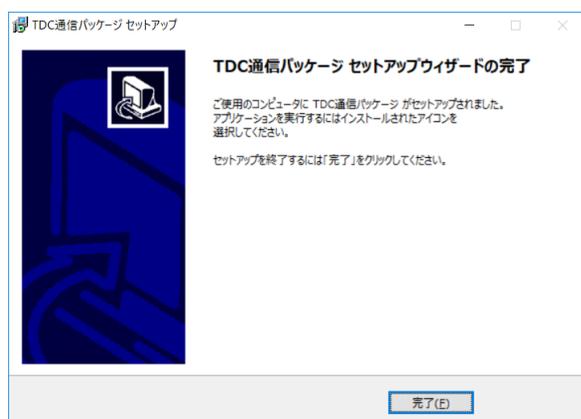


「自動起動する」推奨

7. 「インストール」をクリックし、インストールを開始します。



8. 「完了」をクリックし、インストール終了します。



注意

インストール完了後、PCを再起動して下さい。

1. 「システム管理メニュー」をクリックします



2. 「システム環境設定」をクリックします



3. 接続先を選択します

- DIEX(汎用)サービスのみ利用 ⇒ DIEXのみ
- u-DIEX(汎用)サービスのみ利用 ⇒ u-DIEXのみ
- DIEX(汎用)サービス及び、u-DIEX(汎用)サービス利用 ⇒ 両方



DIEX(汎用)サービス利用時

4. 「DIEX管理サーバー」タブを選択し、管理サーバーアドレスの値を確認します。



	D.e-Net利用時	JNX利用時
プライマリ	tdcauth1.tns.ne.jp	tdcauth1.jnx.tns.ne.jp
セカンダリ	tdcauth2.tns.ne.jp	tdcauth2.jnx.tns.ne.jp

u-DIEX(汎用)サービス利用時

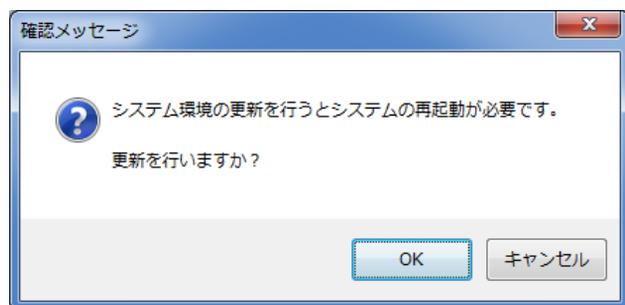
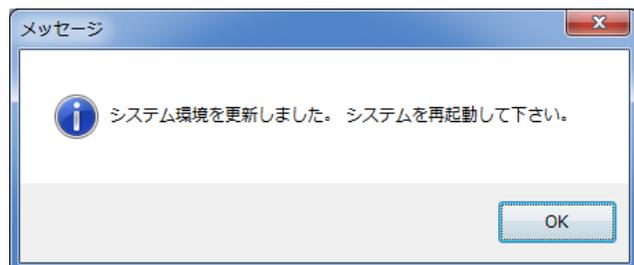
5. 「u-DIEXセンター」タブを選択し、ゲートウェイサーバーアドレスの値を確認します。



D.e-Net利用時	JNX利用時
p-ftp.u-diex.jp	

共通

6. 「更新」をクリックし、表示された画面にて「OK」をクリックします



以上で環境設定完了です。

1. 「システム管理メニュー」をクリックします



2. 「ユーザー登録」をクリックします



3. 「新規登録」をクリックします



共通

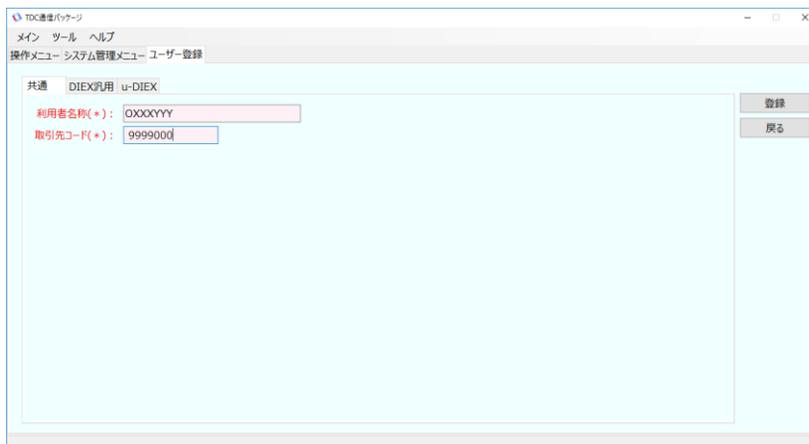
4. 「共通」タブにて下記情報を入力します。

- ・ 利用者名称 ⇒ 任意
- ・ 取引先コード ⇒ 得意先付番の御社の取引先コード（5桁） + 取引先詳細コード（3桁）
※取引先コードの先頭は空白（空白）が必要です。
※取引先詳細コードが付番されていない場合は、「000」として下さい。

例) 取引先コード : 9999

取引先詳細コード : 001 の場合

⇒_9999001 (“_” アンダーバーは空白（空白）を意味します)



The screenshot shows a web application window titled "TDC連携パッケージ" (TDC Link Package). The main menu includes "メイン" (Main), "ツール" (Tools), and "ヘルプ" (Help). The current page is "ユーザー登録" (User Registration). The form has three tabs: "共通" (Common), "DIEX汎用" (DIEX General), and "u-DIEX". The "共通" tab is active. It contains two input fields: "利用者名称(*)" (User Name) with the value "OXXXXYY" and "取引先コード(*)" (Customer Code) with the value "9999000". To the right of the form are two buttons: "登録" (Register) and "戻る" (Back).

DIEX(汎用)サービス利用時

5. 「DIEX汎用」タブより、「DIEX汎用を利用する」を選択し、
『EDI-ID登録完了のご案内(PDF)』を参照の上、下記情報を入力します。
- 管理サーバーログインユーザーID
 - 管理サーバーログインパスワード

The screenshot shows the 'TDC連携パッケージ' (TDC Connection Package) window. The 'DIEX汎用' (DIEX General) tab is selected. Under the 'DIEX汎用を利用する' (Use DIEX General) option, the '管理サーバー経由' (Via Management Server) radio button is chosen. The form contains the following fields:

- 管理サーバー ログインユーザーID(*): XXXXXXXX
- 管理サーバー ログインパスワード(*): [masked]
- リトライ回数(*): 3
- 管理サーバー経由しない (Not selected)
- EDI-ID(*): [masked]
- パスワード(*): [masked]
- 状況確認 タイマー起動時間: [dropdown] 時 [dropdown] 分

Buttons for '登録' (Register) and '戻る' (Back) are visible on the right side.

u-DIEX(汎用)サービス利用時

6. 「u-DIEX」タブより、「u-DIEXを利用する」を選択し、
『プロセスID登録完了のご案内(PDF)』を参照の上、「プロセスID」を入力します。

The screenshot shows the 'TDC連携パッケージ' (TDC Connection Package) window. The 'u-DIEX' tab is selected. Under the 'u-DIEXを利用する' (Use u-DIEX) option, the form contains the following fields:

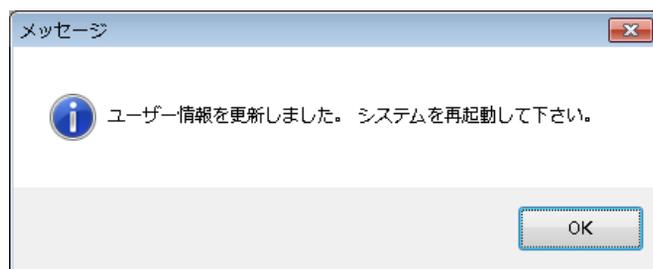
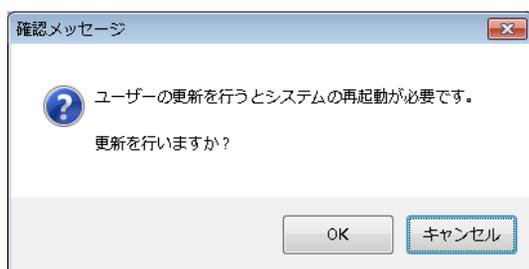
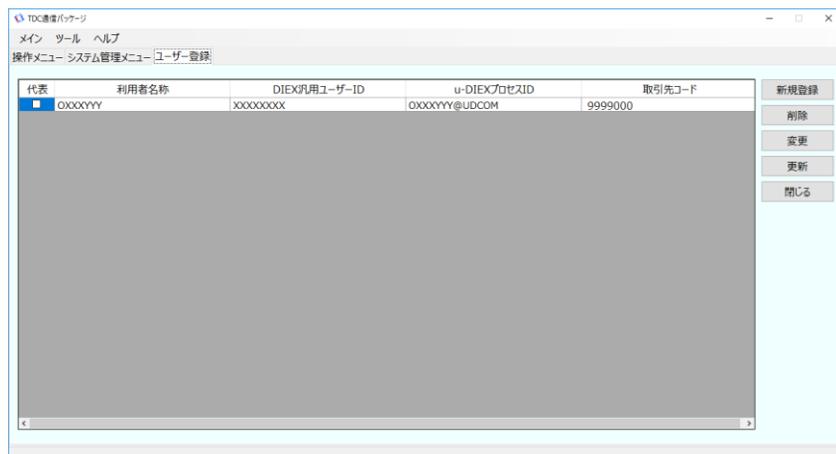
- プロセスID(*): OXXXXYYI @ UDCOM
- 受信パス(*): /DIEX_COM/UDCOM-OXXXXYYI

Buttons for '登録' (Register) and '戻る' (Back) are visible on the right side.

共通

7. 「登録」をクリックします

8. 「更新」をクリックし、表示された画面にて「OK」をクリックします



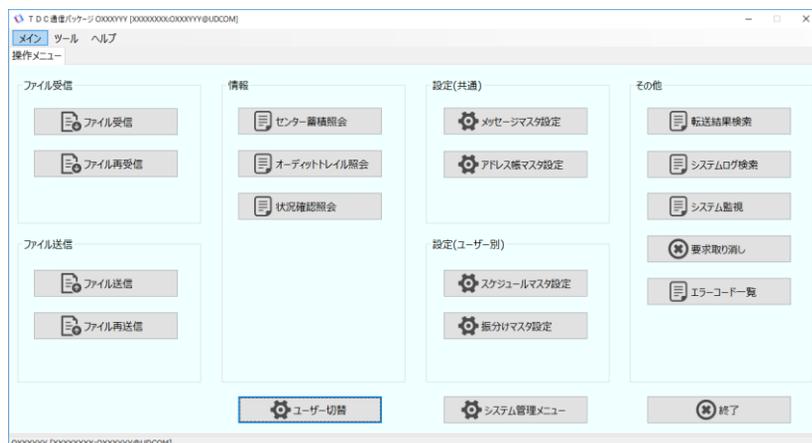
DIEX(汎用)サービス利用時

以上でユーザー登録完了です。

u-DIEX(汎用)サービス利用時

『6. u-DIEXパスワード登録』を実施して下さい。

1. 「システム管理メニュー」をクリックします



2. 「システム起動・停止」をクリックします



3. 「停止」をクリックします



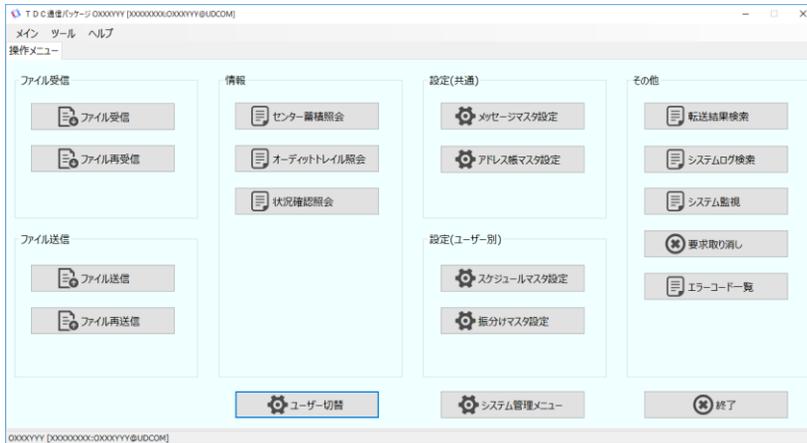
4. 以下ご利用方法に沿ったシステム起動を実行

ネットワークドライブを利用される場合：「ローカル起動」をクリックします

ネットワークドライブを利用しない場合：「サービス起動」をクリックします



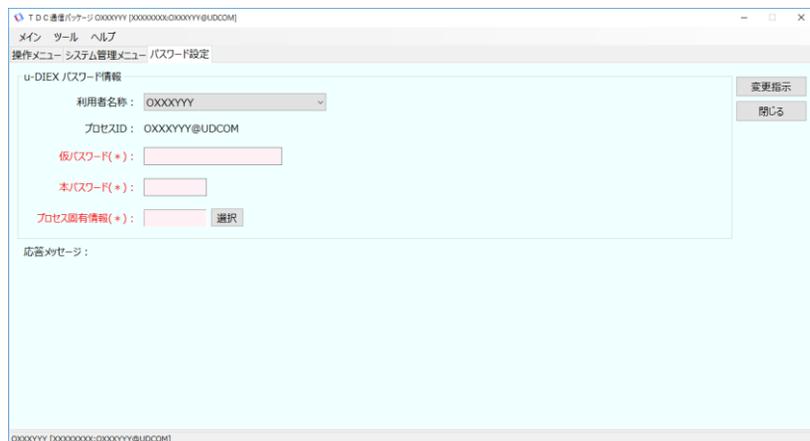
1. 「システム管理メニュー」をクリックします



2. 「パスワード設定」をクリックします



- 『プロセスID登録完了のご案内(PDF)』に記載されている仮パスワードを入力の上、本パスワードに任意の値を入力し、プロセス固有情報の「選択」をクリックします。



The screenshot shows a web browser window with the title "TDC連携パッケージ OXXXXXX [XXXXXXXXXXXX:OXXXXXX@UDCOM]". The browser address bar shows "main" and "ヘルプ". The page content includes a navigation menu with "操作メニュー" and "システム管理メニュー" and a sub-menu "パスワード設定". The main content area is titled "u-DIEX / パスワード情報" and contains the following fields and buttons:

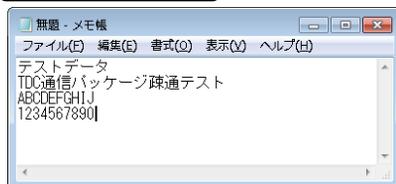
- 利用者名称: OXXXXXX (dropdown menu)
- プロセスID: OXXXXXX@UDCOM
- 仮パスワード(+): [Redacted input field]
- 本パスワード(+): [Redacted input field]
- プロセス固有情報(+): [Redacted input field] with a "選択" button next to it.
- Buttons: "変更指示" and "閉じる" on the right side.
- Response message area: "応答メッセージ:"

- ファイル選択画面が表示されるので、『プロセスID登録完了のご案内』と一緒に受取られた、プロセス固有情報 (OXXXXXX_UDCOM.ca) を選択します。
- 「変更指示」をクリックし、表示されたポップアップにて「OK」をクリックします。

以上でu-DIEXパスワード登録完了です。

1. テストデータの準備（作成）を行います。任意の情報でテキストファイルを作成し、保存します。

テストデータ作成例

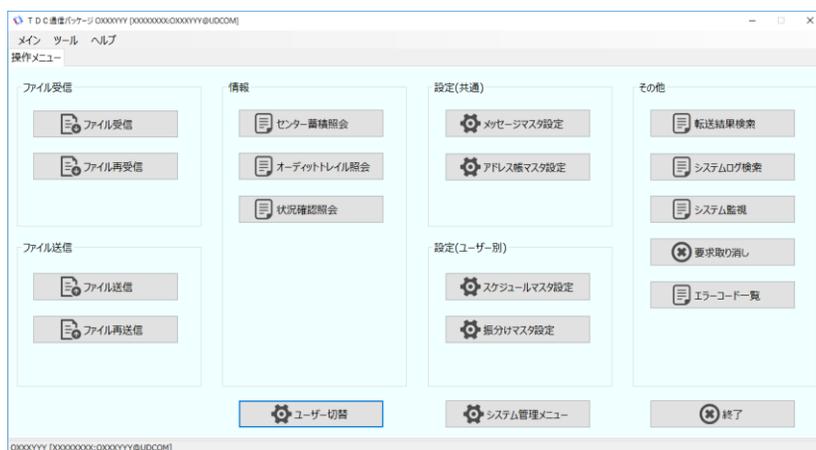


メモ帳等を使用しテストデータを作成し保存します

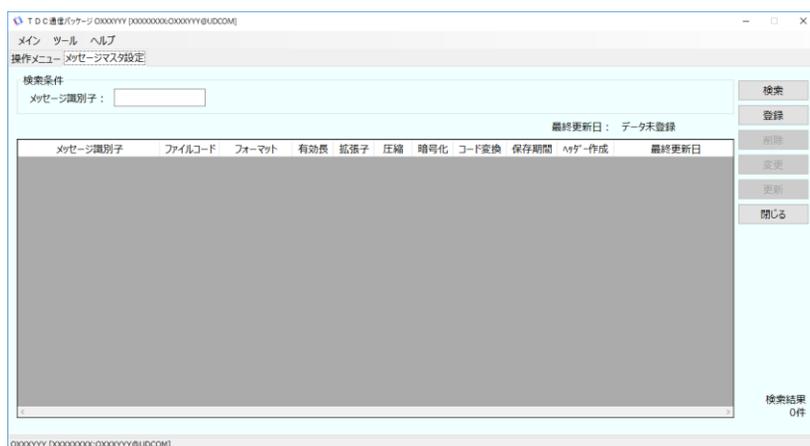
※ファイル名、保存場所は任意です

※作成したデータは項番8、10の「データ送受信テスト」にて使用します

2. 操作メニューから「メッセージマスタ設定」をクリックします。



3. 「登録」をクリックします。



3.メッセージ情報を入力します。

(入力値例)

項番	転送制御情報	入力値
1	メッセージ識別子	TESTDIEX
2	アプリケーションフォーマット	自由形式
3	アプリケーション有効長	blank (記入無し)
4	ファイルタイプ拡張子	txt
5	保存期間	1
6	コード変換	チェック無し (変換しない)
	圧縮	チェック無し (圧縮しない)
	暗号化	しない
	ヘッダー作成	しない
	一括受信	しない

4. 「登録」をクリックし、表示されたポップアップにて「OK」をクリックし、「戻る」をクリックします。

メッセージ設定

メッセージ識別子(*): TESTDIEX

アプリケーションフォーマット: TNS形式 TNS拡張形式 標準形式 自由形式

ファイルコード:

アプリケーション有効長:

ファイルタイプ拡張子(*): txt

保存期間(*): 1 (日)

コード変換: しない する

圧縮: しない する (DIEX授受のみ有効)

暗号化: しない する (DIEX授受のみ有効)

ヘッダー作成: しない する

登録

戻る



5. 「更新」をクリックし、情報を反映します。

メッセージ設定

検索条件

メッセージ識別子:

最終更新日: データ未登録

メッセージ識別子	ファイルコード	フォーマット	有効長	拡張子	圧縮	暗号化	コード変換	保存期間	ヘッダー作成	最終更新日
TESTDIEX		自由形式		txt	無	無	無	1	無	2020/02/04 14:32:10

検索

登録

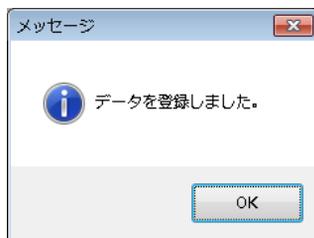
削除

変更

更新

閉じる

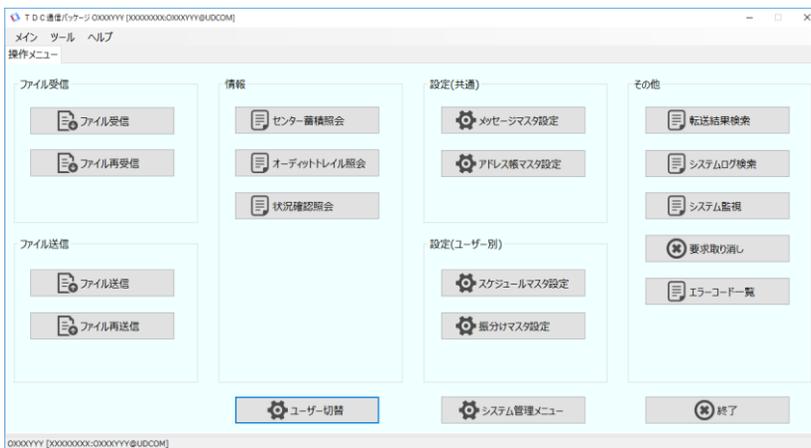
検索結果
1件



6. 「閉じる」をクリックし画面を終了します。



7. 操作メニューから「アドレス帳マスタ設定」をクリックします。



8. 「登録」をクリックします。

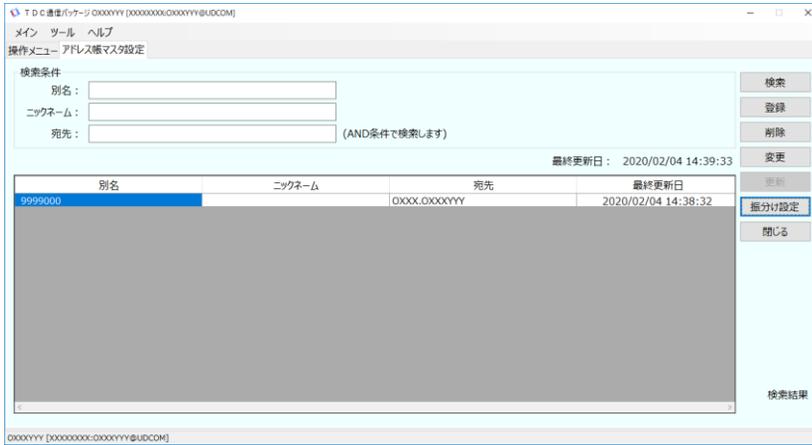


9. 自己宛用の情報を入力後に「登録」をクリックし、表示されたポップアップにて「OK」をクリックし、「戻る」をクリックします。

別名の項目に、自分自身の取引先コード
(御社の取引先コード (5桁) + 取引先詳細コード (3桁))
 を入力して下さい。

宛先の項目に、自分自身のユーザーID
OXXX.OXXXXYYを入力して下さい。
 ↑ ↑
 アカウント (4桁) EDI-ID (7桁)

10. 「更新」をクリックし、表示されたポップアップにて「OK」をクリックし、「閉じる」をクリックします。



DIEX

両方

DIEX（汎用）サービスにご加入のお客様は**次ページ**へ進んでください。

u-DIEX

u-DIEX（汎用）サービスのみにご加入のお客様は「9. 振り分け情報受信」へ進んでください。

8. データ送受信テスト(DIEX(汎用)センターとのテスト)

1. 操作メニューからファイル送信をクリックします。
2. メッセージ識別子の「選択」をクリックします。



「7. データ送受信テスト準備」で登録した
TESTDIEXをダブルクリックします

3. 宛先の「選択」をクリックします。



「7. データ送受信テスト準備」で登録した
EDI-IDに対応した別名をダブルクリックします

※ 誤って自分自身の別名以外を指定しないようご注意ください



注意

宛先は確実にお客様自身の別名を選択してください

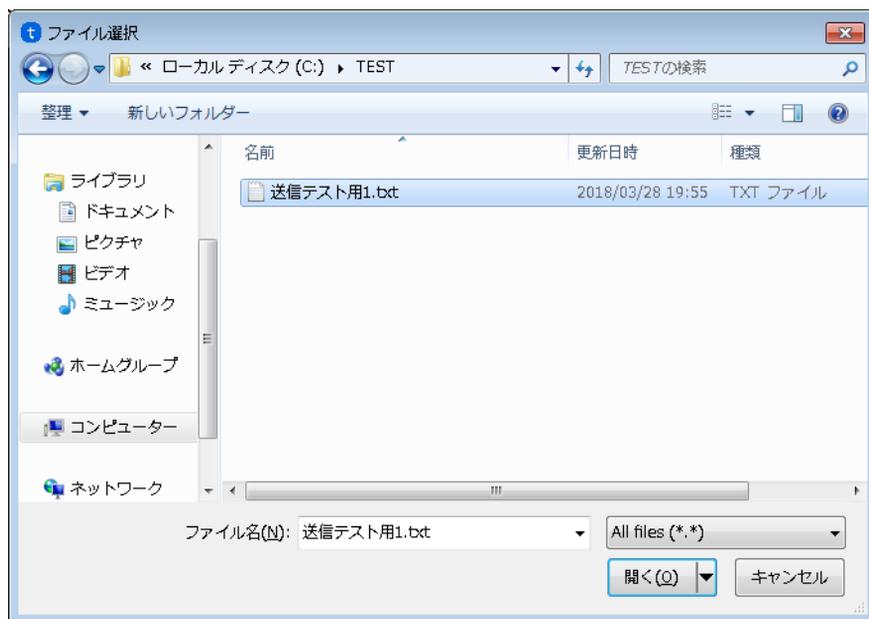
誤ってお客様自身の別名(EDI-ID)以外にデータを送信した場合、
送信先の業務が停止する可能性があります。
宛先の指定には充分ご注意ください。

4. ファイル名の「選択」をクリックします。



作成済みテストデータを保存したフォルダーを選択します

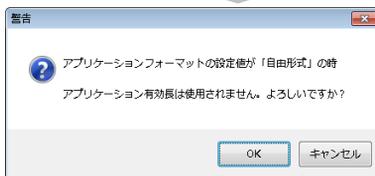
※表示例はテストデータの保管場所を「C:¥TEST」フォルダー配下に保管した場合



作成したファイルをダブルクリックします

※表示例はテストデータ名を「送信テスト用1.txt」で作成の場合

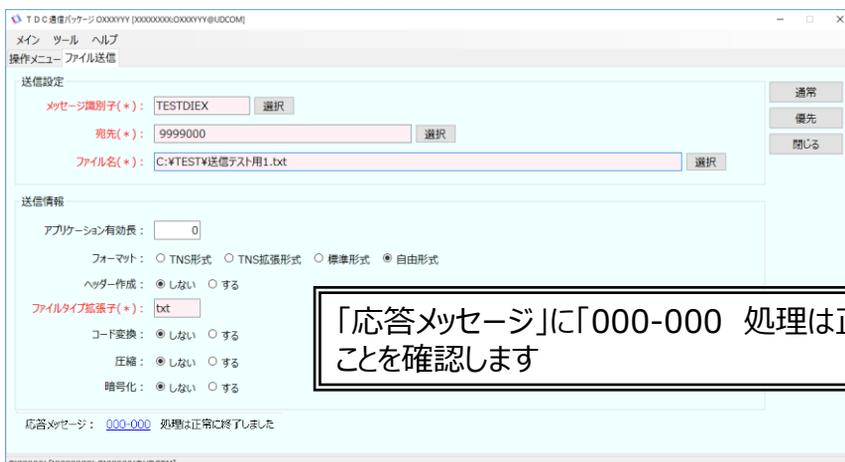
5. 「優先」をクリックします。



「はい (Y)」ボタンを選択します

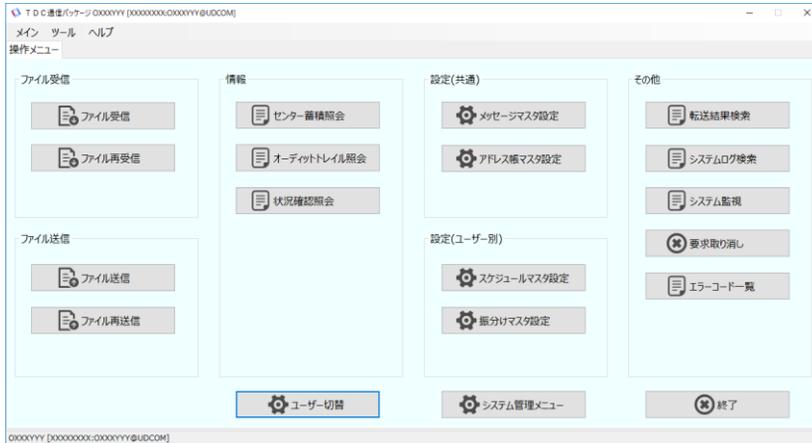


6. 処理が正常に終了したことを確認します。

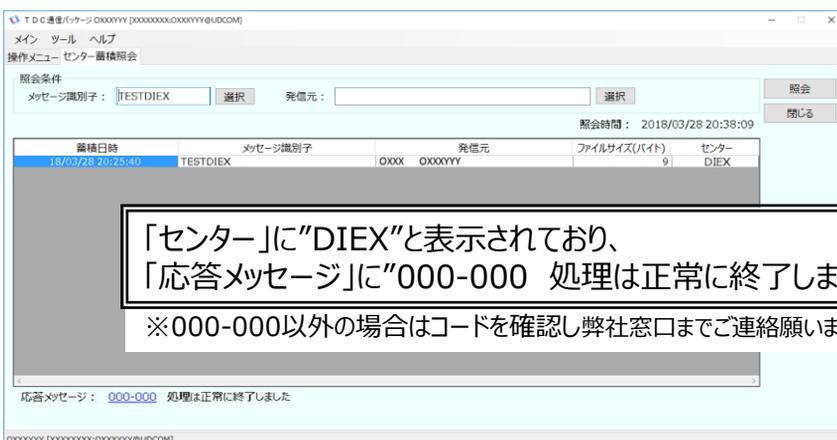


「応答メッセージ」に「000-000 処理は正常に終了しました」が表示することを確認します

7. 操作メニューから「センター蓄積照会」をクリックします。



8. 「照会」をクリックします。



「センター」に“DIEX”と表示されており、
「応答メッセージ」に“000-000 処理は正常に終了しました”が表示することを確認します

※000-000以外の場合はコードを確認し弊社窓口までご連絡願います。

9. 「閉じる」をクリックしメッセージ蓄積照会を終了します。



10. 操作メニューから「ファイル受信」をクリックします。

11. メッセージ識別子の「選択」をクリックします。



登録した「TESTDIEX」のメッセージ識別子をダブルクリックします。

12. ファイルパス名の「設定」をクリックします。

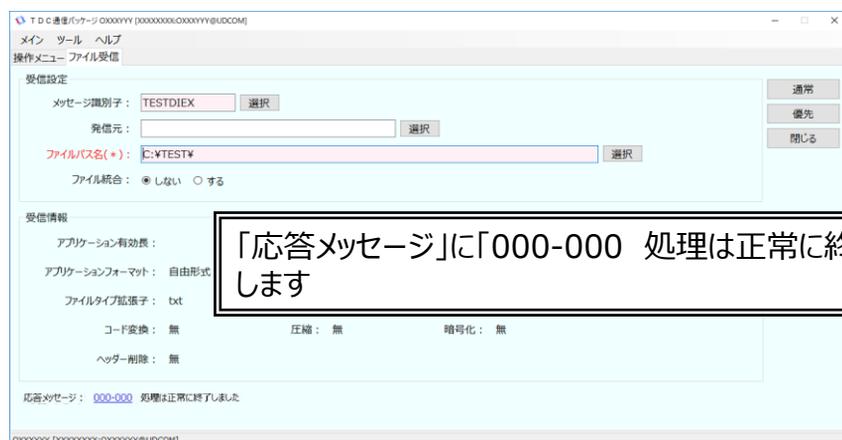


「ファイルパス選択」画面から送信テスト用のファイルと同一のパスを選択して、OKをクリックします

13. 「優先」をクリックします。



14. 処理が正常に終了したことを確認します。



15. 指定したフォルダーに受信したファイルが存在し、内容が正しいことを確認します。

u-DIEX

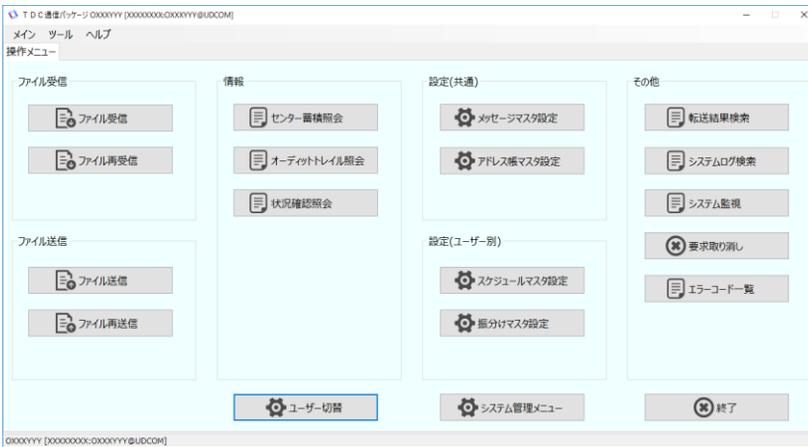
両方

u-DIEX（汎用）サービスにご加入の
お客様は**次ページ**へ進んでください。

DIEX

DIEX（汎用）サービスのみにご加入
のお客様は作業完了です。

1. 操作メニューから「システム管理メニュー」をクリックします。



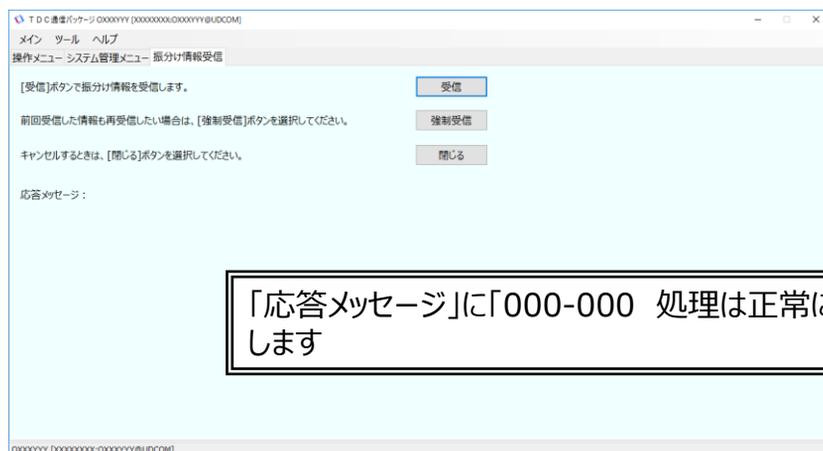
2. システム管理メニューから「振り分け情報受信」をクリックします。



3. 「強制受信」をクリックします。



4. 処理が正常に終了したことを確認します。



1. 操作メニューからファイル送信をクリックします。
2. メッセージ識別子の「選択」をクリックします。



「7. データ送受信テスト準備」で登録した
TESTDIEXをダブルクリックします

3. 宛先の「選択」をクリックします。



「7. データ送受信テスト準備」で登録した
EDI-IDに対応した別名をダブルクリックします

※ 誤って自分自身の別名以外を指定しないようご注意ください



注意

宛先は確実にお客様自身の別名を選択してください

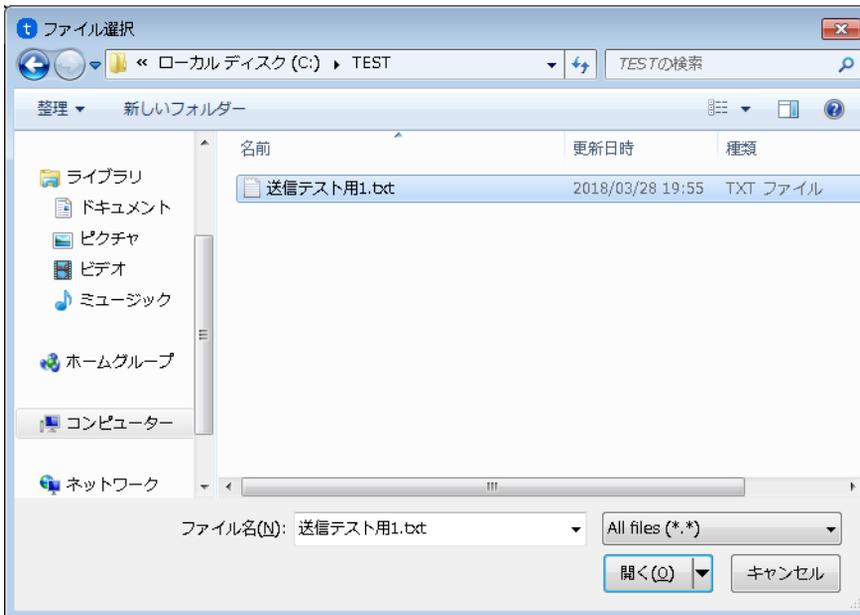
誤ってお客様自身の別名(EDI-ID)以外にデータを送信した場合、
送信先の業務が停止する可能性があります。
宛先の指定には充分ご注意ください。

4. ファイル名の「選択」をクリックします。



作成済みテストデータを保存したフォルダーを選択します

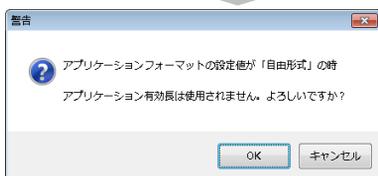
※表示例はテストデータの保管場所を「C:¥TEST」フォルダー配下に保管した場合



作成したファイルをダブルクリックします

※表示例はテストデータ名を「送信テスト用1.txt」で作成の場合

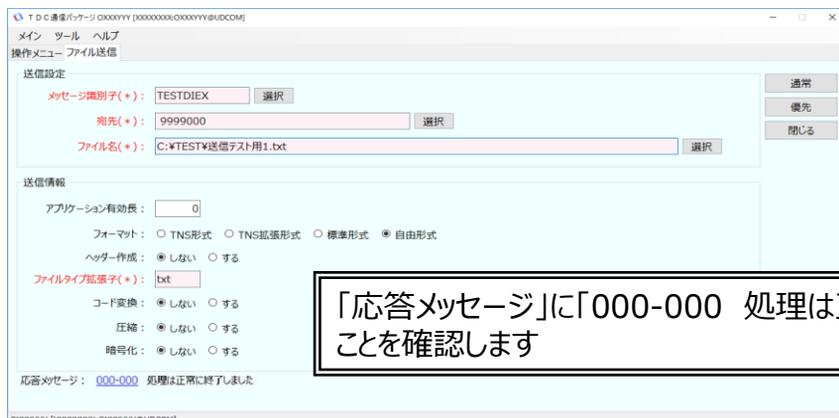
5. 「優先」をクリックします。



「はい (Y) 」ボタンを
選択します

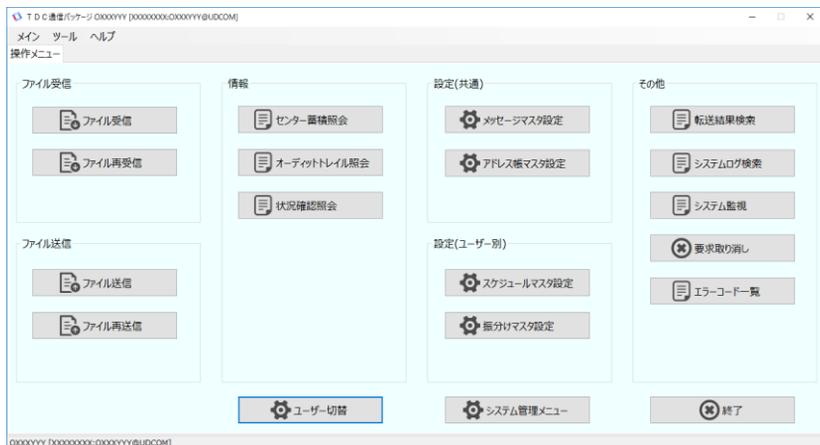


6. 処理が正常に終了したことを確認します。

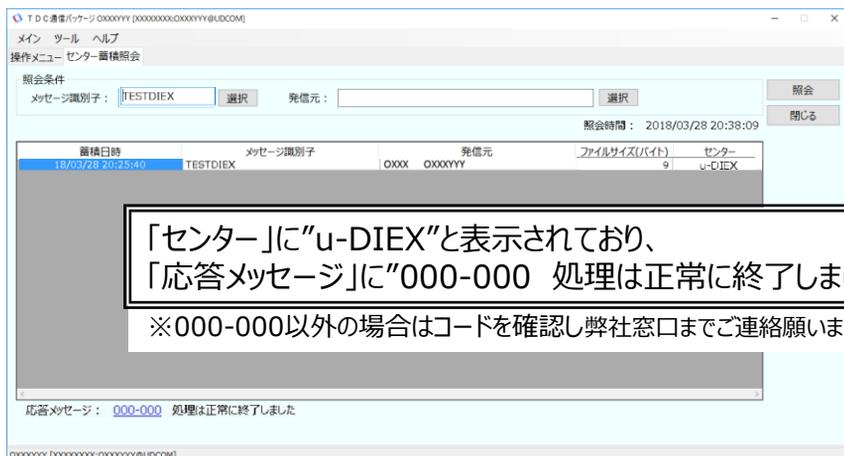


「応答メッセージ」に「000-000 処理は正常に終了しました」が表示することを確認します

7. 操作メニューから「センター蓄積照会」をクリックします。



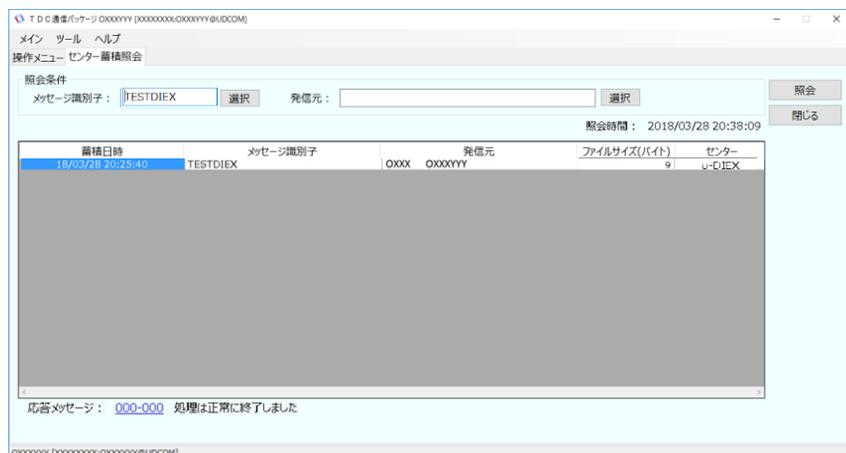
8. 「照会」をクリックします。



「センター」に“u-DIEX”と表示されており、
「応答メッセージ」に“000-000 処理は正常に終了しました”が表示することを確認します

※000-000以外の場合はコードを確認し弊社窓口までご連絡願います。

9. 「閉じる」をクリックしメッセージ蓄積照会を終了します。



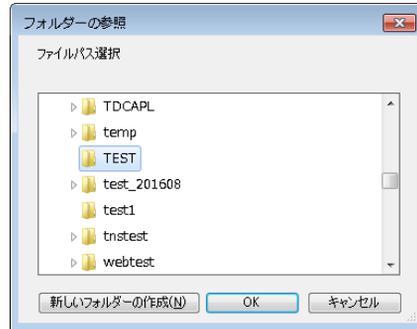
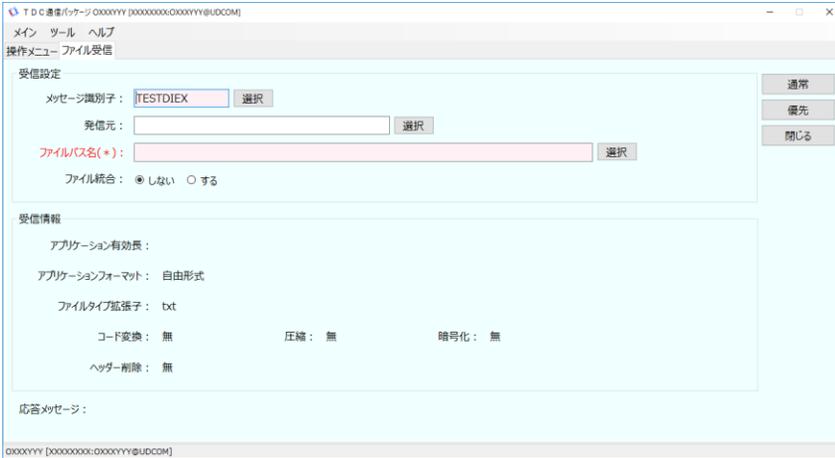
10. 操作メニューから「ファイル受信」をクリックします。

11. メッセージ識別子の「選択」をクリックします。



登録した「TESTDIEX」のメッセージ識別子をダブルクリックします。

12. ファイルパス名の「設定」をクリックします。

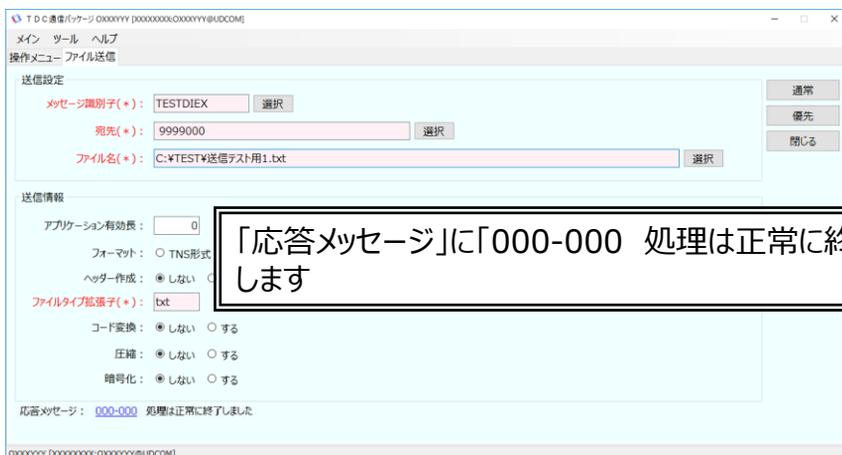


「ファイルパス選択」画面から送信
テスト用のファイルと同一のパスを
選択して、OKをクリックします

13. 「優先」をクリックします。



14. 処理が正常に終了したことを確認します。



15. 指定したフォルダーに受信したファイルが存在し、内容が正しいことを確認します。

A. 参考情報

.NET Frameworkがインストールされていない場合、以下対応が必要となります。

1. Microsoftサイト「.NET Frameworkのインストール」から、.NET Frameworkをダウンロードします。

必要なバージョンは、.NET Framework 4 以上(*1)です。

2. Microsoftサイトにあるインストール方法にしたがって、インストールを行って下さい。

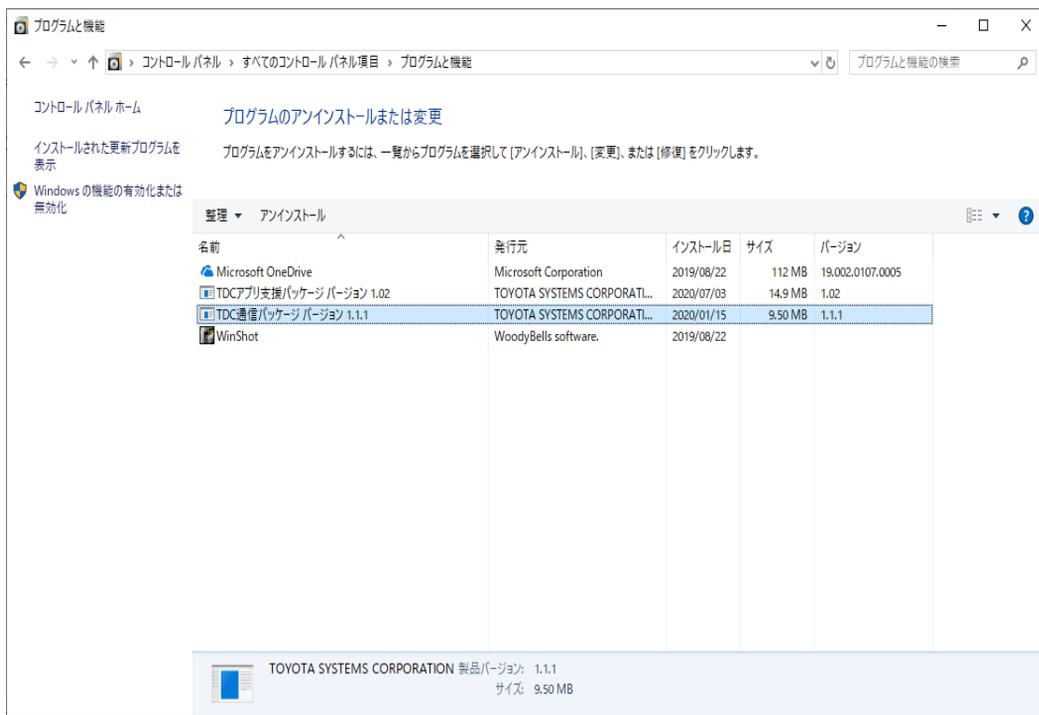
**注意**

アンインストールを実施する前にご確認下さい。

- ・アンインストールを行う際は、他のアプリケーションを全て終了してから実行してください。
- ・システム管理メニューからシステム停止を行い、システムが停止済みであることを確認してください。

1. Windowsのコントロールパネルを開き、「プログラムと機能」をクリックします。
2. 「TDC通信パッケージ バージョン x.x.x」を選択し、「アンインストール」をクリックします。

※バージョンは、導入されているパッケージのバージョンにより異なります。



画面の指示に従って、アンインストールを行ってください。

お問い合わせ先

株式会社 トヨタシステムズ カスタマーセンター

ポータルサイト：

<https://ts-customer-center.custhelp.com/>